

令和8年4月1日

「心得」とは、「いつも心がけておくこと」という意味です。この心得は、児童の皆さんが安心・安全で気持ちのよい学校生活を送り、よりよく成長していくための行動や態度について書かれたものです。一人ひとりが児童心得を意識し、やくそくを守って生活しましょう。

1 気持ちよく過ごすために

(1) 相手の目を見て、はっきりとした声であいさつをしましょう。

「おはようございます。」「こんにちは。」「さようなら。」「お願いします。」など、自分も相手も気持ちよくなるようなあいさつを心がけましょう。また、自分から進んで言いましょう。

(2) その場に合った言葉づかいをしましょう。

話す相手や場所に合わせて、正しい言葉づかいをしましょう。また、かげ口や人を傷つけるような言葉、自分が言われていやな言葉をつかいません。

(3) 集合する時は静かに早く行動し、廊下や階段は静かに歩きましょう。

学校はみんなで生活する場所であることを意識して生活しましょう。

(4) 用のない教室には入りません。

(5) 職員室やほかの教室に入・退室するときは、あいさつをして用事を言いましょう。

入室するとき＝「失礼します。○年生の□□です。△△先生に用があって来ました。」

「失礼します。○年生の□□です。名札を買いに来ました。」など

退室するとき＝「失礼しました。」

(6) 時計をよく見て、時間を守って行動しましょう。

時間を知らせるチャイムは鳴りません。時刻を確認して、間に合うように行動しましょう。

(7) 掃除時間は、バンダナを頭にまき、関係のない話をせず集中して掃除をしましょう。

(8) 校内放送がかかったら、動きをとめて静かに聞きましょう。

(9) 学校の物をわざと壊したりふざけていて壊したりしたときは、弁償します。

2 登校・下校について

(1) 決められた通学路を通って登下校をしましょう。

(2) 8時までに登校して、学習の準備をしましょう。

学習の準備は素早く終わらせて、8時から朝読書や朝学習ができるようにしましょう。

(3) バスの運転手さんにあいさつをしましょう。

(登校時)乗るとき＝「おはようございます。お願いします。」

降りるとき＝「ありがとうございました。」

(下校時)乗るとき＝「お願いします。」

降りるとき＝「ありがとうございました。明日もお願いします。」

(4) バスの中では、自分の席に座って静かに過ごしましょう。

バスはみんなで乗るものです。周りの人も過ごしやすい空間にするためにも、静かに乗りましょう。また、ケガや事故をしないように、席を移動しないようにしましょう。

(5) 欠席や遅刻をする場合は、登校班の班長と学校に連絡をしましょう。

(6) 下校後、忘れ物を取りに来たときは、職員室の先生に言ってから教室に行きましょう。

3 服装・身だしなみについて

(1) 学校内外の学習活動及び登下校時は、その場面に合った服装をします。学習活動のときに、以下の以外の服装になる場合は、先生の指示に従いましょう。

① 登下校時…決められた服装で登校します。

- ・基準服 紺色襟なしダブルの上着・紺色の半ズボンまたは紺色の吊りスカート・白いポロシャツ。スカートの下には、体操服用のハーフパンツをはいてもよいです。
- ・通学帽子 黄色の野球帽型安全帽子または黄色の登山型安全帽子をかぶります。
- ・靴下 全体が白色・黒色・紺色・グレーの単色で、くるぶしの上からひざ下までの丈のものをはきましょう。足裏の色が黒いものやワンポイントがあるものでもよいです。
- ・通学用靴 運動しやすいもので、白を基調としたものをはきましょう。くつやシューズは、かかとを踏まずにはきましょう。
- ・上履き 校内用・体育館シューズ用(白色)2足を使い分けてはきましょう。
- ・名札 上着には名札を付けます。上着を脱いだ時には、ポロシャツやスカートの肩ひもに名札を付けましょう。体操服の時は付けなくてよいです。名札は学校で販売しています。
- ・防寒 気温や体調に合わせて、汚れても自立たない色(黒色か紺色)のベストかセーターを上着の下に着用しましょう(目安として11月から3月)。また、登下校時に手袋・マフラー・防寒用上着を着用してもよいです。校舎に入ったら取りましょう。

② 体育等の学習時

- ・体操服 白い体操シャツ、紺色のハーフパンツ、赤白帽子を身につけます。
- ・防寒 寒いときには、防寒着、手袋は着用してもよいです。ただし、運動が始まったら脱ぎます。
- ・水着 黒・紺色のパンツ型、黒・紺色のワンピース型(フリルなし)。ラッシュガード(記名した布を付けます。)を着用します。黄色い水泳帽子(額の部分に大きく記名します。)をかぶります。

(2) 頭髪は、学習や運動に適した清潔かつ自然な髪や長さにします。

- ・髪が肩にかかるようであれば、ヘアゴムなどを使って頭の後ろで、耳よりも低い位置で結びます。
- ・前髪が目にかかるようであれば、ヘアピンなどで髪をとめます。
- ・ヘアゴムやヘアピンは、華美な装飾のないシンプルなものを使いましょう。

(3) 化粧やマニキュア、染髪等をしません。

4 持ち物について

- (1) 学校生活、学習に必要なものは持ってきません。
- (2) 持ち物には名前を書きましょう。
- (3) 必要のないお金は持ってきません。特別な理由がある場合は、担任の先生に相談しましょう。持ってきたときは、登校後、すぐに担任の先生に預けます。
- (4) 学校で物を借りたときは、借りた人が返すようにしましょう。
- (5) ランドセル、かばん等には、熊よけ鈴・お守り以外のキーホルダーは付けません。お守りは、ランドセルの前ポケットの中に入れておきましょう。
- (6) 学習の道具は以下の物を持って来ましょう。
 - ①鉛筆…2B、B、HB かつ六角形など転がりにくい形のものを5本(前日に削っておく)持ってくる。学校で鉛筆を削りたい場合は、学校の鉛筆削りを使う。自宅から鉛筆削りを持ってこない。また、不要な鉛筆やキャップを持ってこない。
 - ②消しゴム…におい付きでなく、色やデザインがシンプルで、消しやすいもの
 - ③ものさし…目盛りが読みやすく、変形しないもの
 - ④赤青鉛筆…1本
 - ⑤下じき…シンプルなデザインのもの
 - ⑥赤青ボールペン(4年生以上)…赤青各1本または一体型1本または赤青蛍光ペン各1本
 - ⑦ネームペン…1本

5 学習について

- (1) 学校生活の基本は勉強です。集中して取り組みましょう。
- (2) 授業が始まるまでに、机の上に必要なものを準備しておきましょう。
- (3) 授業開始時間に授業を始められるように、時間をよく見て準備をしておきましょう。
- (4) 授業の始めと終わりには、姿勢を正し、はっきりとした声であいさつをしましょう。

始め	「立腰」(姿勢を正す)→「これから□□の勉強を始めます。」→返事「はい。」→礼「おねがいします。」
終わり	「立腰」(姿勢を正す)→「これで□□の勉強を終わります。」→返事「はい。」→礼「ありがとうございました。」
- (5) 授業中は、必要のないおしゃべりはせず、分からないことは積極的に聞きましょう。
- (6) 宿題は、毎日やって出しましょう。忘れてたりやっけていなかったりした場合は、正直に言いましょう。
- (7) 忘れ物をしたときには、授業が始まる前に先生に言いましょう。

6 欠席・遅刻・早退などについて

- (1) 学校を欠席・遅刻・早退するときは、必ず家の人に8時までに学校と登校班の班長に連絡してもらいましょう。(学校への連絡は、原則市民ポータルサイトで行ってください。)
- (2) 遅刻して学校に来た場合は、まず職員室に行き、学校に来たことを伝えましょう。言い方:「失礼します。○年生の(名前)です。今学校に来ました。」

- (3) 早退するときは、必ず担任の先生に伝えてから帰りましょう。
- (4) 原則、学校に来たら学校の外には出ません。

7 学校外での生活について

- (1) 友達同士で物の交換をしないようにしましょう。
- (2) 友達同士で物をおごったりおごられたりしないようにしましょう。
- (3) 遊びに出るときなどは、家の人に行き先や帰る時刻を伝えて出かけます。
- (4) 危ない遊びや人にめいわくになることはしません。
- (5) 子どもだけで校区外へ行かないようにしましょう。
- (6) 4月から10月までは6時までに、11月から3月は5時までに家に帰っておきましょう。
- (7) 大人が留守の家の中では遊びません。
- (8) 子どもたちだけでどこかに泊まったり、夜中に歩き回ったりしないようにしましょう。
- (9) 子どもだけで川や池で泳いだり、釣りをしたりしないようにしましょう。
- (10) 知らない人の車に近づいたり、知らない人について行って乗せてもらったりしません。
- (11) 自転車は、ルールを守って乗りましょう。

①交通ルールを守りましょう。

②自転車保険に加入しておきましょう。(令和5年4月1日から義務化)

③自転車に乗るときは、必ずヘルメットをかぶりましょう。

④横断歩道は、自転車を押してわたりましょう。

⑤2年生以下の方は、道路で自転車に乗らないようにしましょう。

⑥3年生以上の方は、国道では自転車に乗らないようにしましょう。

- (12) 公共施設は、様々な人が使う場です。周りの人のことを考えて利用しましょう。

例) 相手に聞こえる声であいさつをしたり、お礼を言ったりする。

・正しい言葉づかいで話す。 ・声の大きさや話の内容に気を付ける。

・自分たちが出したゴミは持ち帰る。 ・借りたものは大切に使い、必ず返す。

・その場所やそのものを使ってこわれたり汚したりしてしまったら、正直に言う。

8 困ったとき

困ったことがあったら担任の先生、保健室の先生などの話しやすい先生に相談しましょう。また、スクールカウンセラーの先生に相談することもできます。

9 その他

- (1) 以上のことについて、学校生活を送るのに支障をきたす場合は、事前に申し出て学校長の承認を得ることにより、特別に許可をする場合があります。
- (2) その他分からないことは、自分で勝手に判断せず、先生に相談しましょう。